

Universidad de Costa Rica  
Instituto de Investigaciones Sociales

コスタリカ大学 (UCRと略記) は、ナショナル大学 (UNA, エレディア市), コスタリカ工科大学 (ITCO, カルタゴ市), 国立遠隔地大学 (UNED, 各地に分散) と並ぶ国立大学で、これらのなかで最大規模のものである。UCRのキャンパスはサンホセ市の東の郊外に位置し、小規模ながら大学都市を形成している。社会調査研究所 (IISと略記) は、UCRの社会科学部 (Facultad de Ciencias Sociales) に属する研究機関である。今年1990年には、UCRは創立50周年、IISは創立15周年をそれぞれ迎えた。

IISは、コスタリカおよび中米の現実に焦点をおいて社会科学諸分野の学際的な研究を行ない、その成果を普及することを目的としている。IISの運営は、社会科学部の助言審議会と同じメンバーで構成される研究所助言審議会 (Consejo Asesor de Instituto) によって調整される。財源は大学の予算の他、国内外の財団等からの助成金である。IISはCLACSO (ラテンアメリカ社会科学協議会) のメンバーとしてラテンアメリカの他の社会科学研究機関と連携関係にある。またサンホセに本部をおくCSUCA (中米大学最高審議会) とも緊密な協力関係にある。

IISの調査研究活動は共同研究のプログラム (Programa) として組織される。現在進行中の研究プログラムは以下のとおりである。(かっこ内はコーディネーター名)

- (1) コスタリカにおける社会運動 (D・カマチョ)  
大衆運動および支配的グループ (例, 経営者団体) の運動の体系的な分析
- (2) 農村開発問題 (M・フェルナンデス)  
国の経済・社会政策がコスタリカ農業の大衆部門におよぼす影響, 社会的参加と臨時雇用農業労働等の研究
- (3) コスタリカにおける社会的所有: 協同組合主義を中心として (M・ロハス)

コスタリカにおける協同組合発展のパノラマ, 農業組合モデルがチコロテガ地域にもたらした貢献等の研究

- (4) 人口と開発問題 (D・クラウスコフ)

出生率, 人口の国内移動, 経済活動への参加, 技術移転の社会的インパクト等の諸事象との関連で人口の動態を追跡する。

- (5) 社会的制御の構造 (L・チャコン)

「犯罪学」に属する分野で, 社会的逸脱, 制御に関連する諸事象を分析する。

- (6) 中米の政治 (M・ベガ)

中米の政治プロセスを各国内, 地域, および国際的な関連で分析する。

IISの出版物には以下の種類のものがある。

雑誌 *Anuario de Estudios Centroamericanos* (原則として年2回), 現在Vol.15 (1989年第1分冊) まで刊行されている。

*Avances de Investigación* (研究成果シリーズ, 不定期), Vol. 73まで刊行されている。

*Información Documental* (情報シリーズ), 文献目録が中心。

*Contribuciones* (不定期), 1989年に新規に始められた研究報告シリーズで, これまでにNo.0からNo.6まで7冊刊行されている。

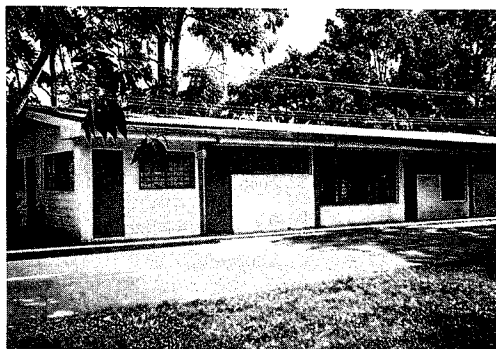
単行書 *La elite ganadera en Costa Rica, Democracia en Costa Rica*, 他数冊が出版されている。

この他に大学出版局より発行される雑誌 *Revista de Ciencias Sociales* (原則年4回) の編集, 執筆に研究所のスタッフは密接に関わっている。

IISでは創立15周年を記念して, 今年8月から9月にかけて各研究プログラムが組織する以下のような公開シンポジウムを週1回のペースで連続7回開催した。

- (1) 「社会運動」プログラム——「ラテンアメリカ

石井 章 (在サンホセ海外調査員)



社会調査研究所



カマチョ氏(左)と筆者

カの大衆運動」

- (2) 「農村開発」プログラム——「農民層と農業の变革」
- (3) 「人口と開発問題」プログラム——「コスタリカにおける女性の生活条件」
- (4) 「中米の政治」プログラム——「中米における危機と社会生活」
- (5) 「中米の政治」プログラム——「コスタリカの選挙におけるアンケート調査：科学かデマゴギーか」
- (6) 「社会的所有：協同組合主義」プログラム——「コスタリカにおける協同組合主義の危機」
- (7) 「社会的制御の構造」プログラム——「国家権力に関する学際的分析」

IISの研究プログラムに参加している者は、IISの専任スタッフの他に社会科学部の教官、学内の他の研究所のスタッフなどで、合計34名になる。とくに女性の研究者が多いのが目立つ。クラウスコプ(Dina Krauskopf) 所長、アチオ(Mayra Achio) 副所長、エギサバル(Cristina Eguizabal) 前副所長といずれも女性である。

IISに関係する研究者のなかにはコスタリカを代表する社会学者の名前をあげることができる。ベガ・カルバージョ(J.L. Vega Carvallo) 元所長、ロビナ(Jorge Rovina M.) 前所長ともに同国の代表的

な社会学者である。前者には「秩序と進歩：コスタリカにおける国民国家の形成」(Orden y progreso: La formación del estado nacional en Costa Rica)、後者には「80年代のコスタリカ」(Costa Rica en los años ochenta) 他の著書がある。

クラウスコプ現所長は青少年問題をとくに専門としている。中米の国際関係を専門とするエギサバル前副所長は、アジア経済研究所の1989年度中南米総合国際ワークショップに招聘され、「米国の外交政策と中米の危機」について講演した(本誌, Vol.7, No.1, 1990年参照)。同氏の近著(編著)に『ラテンアメリカと中米危機：地域的解決を求めて』(*América Latina y la crisis centroamericana: En busca de una solución regional*) がある。

「コスタリカにおける社会運動」プログラムのコーディネーター、カマチョ(Daniel Camacho)氏は、1990年2月の大統領選挙に人民連合(Pueblo Unido)から立候補した。同氏には「ラテンアメリカの大衆運動」(*Los movimientos populares en América Latina*) の編著書(共編)がある。

IISの住所、連絡先は以下のとおり。

Instituto de Investigaciones Sociales  
 Universidad de Costa Rica  
 Ciudad Universitaria "Rodrigo Facio"  
 C.P.2060, COSTA RICA Tel. 53-3721